

	視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	① 探求活動、体験活動、研究活動の充実をはかり、生徒一人ひとりが個性を生かして主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを構築する。 ② 創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣の確立を目指し、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習支援を目指す。	① 生徒一人ひとりの個性を生かし、創造的な活動ができる人材を育成する。	① 実験、実習、演習等をとおして、各系、分野の専門教育を充実させる。また、プレゼンテーション力の向上を目指し、発表会等に積極的に参加させる。	① 各系、分野の専門教育を生かし、プレゼンテーションができたか。
2	生徒指導・ 支援	① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、安心して安全に希望をもって学べる学校づくりを進める。	① 生徒が主体となり、個性に応じた高校生活を送り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。	① 生徒会活動の活性化と充実を図る。 ② 年次会を核とした情報交換を徹底し、相談体制とケース会議、いじめ対策を充実させる。 ③ 関係グループと連携し、挨拶の励行や規範意識の向上を図る。	① 生徒会活動の取組み状況と成果は十分であったか。 ② 年次会の報告やケース会議、いじめ対策会議を通して適切に生徒の状況を把握し支援できたか。 ③ 通学時も含めた学校生活が安全で安心であるか。
3	進路指導・ 支援	① 社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育の推進を行う。	① キャリア教育及び進路相談の体制の充実と生徒の主体的な進路選択を支援する。	① キャリア教育実践プログラムに基づいた進路指導の実施とインターンシップを実施する。 ② 年間の進路指導計画に基づくガイダンスを計画的に行うとともに、個々の生徒に対する相談・指導体制を整える。	① 年間の進路指導計画に基づくガイダンスを計画的に実施できたか。 ② 生徒の進路希望の実現ができたか。
4	地域等との 協働	① 積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。	① 地域及び他校間との連携を強化し、開かれた学校とする。 ② コミュニティ・スクール（CS）指定校として特色ある教育活動を推進する。	① 地域の小学校と連携し、科学技術体験教室を4校で実施する。 ② ホームページ等を活用した学校広報活動を推進する。 ③ 地域に根ざした交通安全啓発活動等の取組みを推進する。	① 体験教室の規模や満足度は向上しているか。 ② 学校情報の発信は十分行っていたか。 ③ 地域や外部との連携、活動状況やその成果は十分なものであったか。
5	学校管理 学校運営	① 事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力の向上を目指す。 ② 生徒の防災意識を高め、防災教育の推進をはかる。	① 防災教育の充実により、生徒・保護者及び学校間の連携を図り、防災意識を定着させる。	① 生徒・保護者に対して、災害時の行動について啓発できるような安全対策指導を実施する。	① 防災教育として、行事や大規模災害発生時を想定した3者の対応を確認できたか。